「いまクライメート・ジャスティスを!」の推進を！

イレーネ・ベレス
日本、東京　2009年3月11日

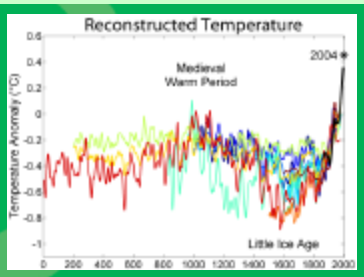
気候変動の証拠:

- 地球温暖化
- 極冠と氷河の縮小
- 海面の上昇と沿岸地域の洪水
- 砂漠化の進行と淡水資源の縮小
- 自然災害の頻度の増加
- 種の絶滅
- 疫病の伝播

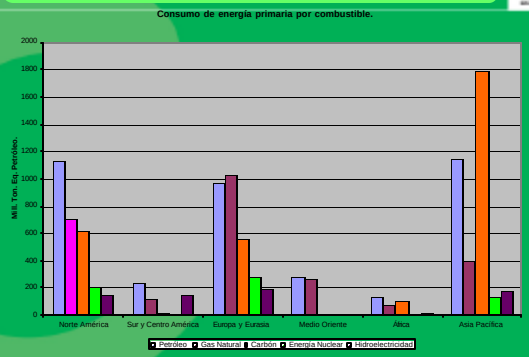
歴史的な原因 (18世紀以降)

植民地主義
資本主義
帝国主義

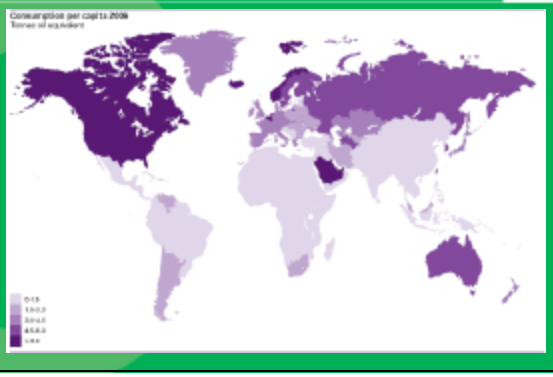
→ 気候変動



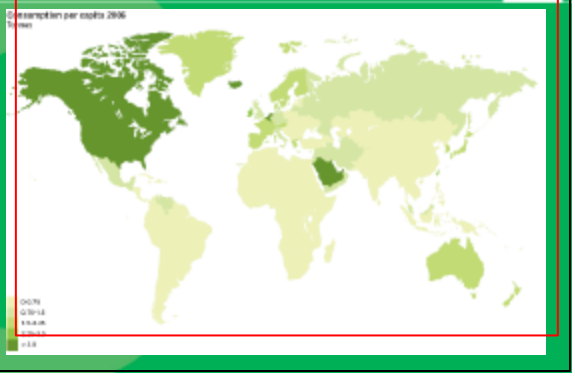
環境と社会的な不正行為



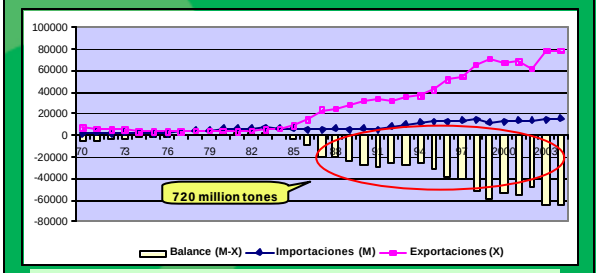
消費の集中（エネルギー　2006年）



消費の集中（石油　2006年）

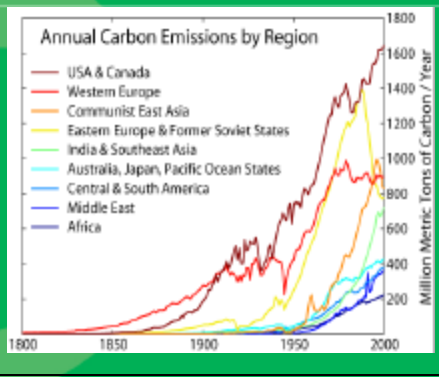


環境および社会的な負債



コロンビア経済における物理的貿易収支は、過去30年間の生態学的負債が7億2千万トンと見積もれることを示している。

消費の結果としての排出



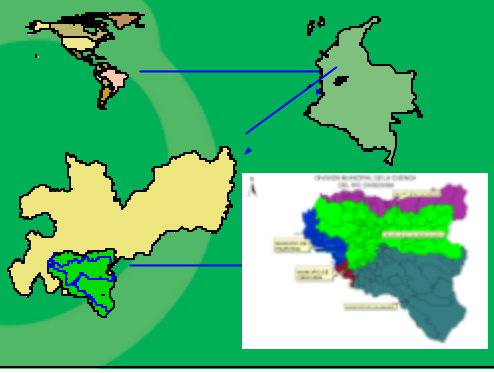
消費の結果としての排出

気候変動に関する国連枠組条約などの多国間の機構は新自由主義的民主主義の落とし子であり、特権グループを利し、資本主義市場を推進する。それは人びとを支配するためのツールである。中立的であるかのように装っているが、主導権を取り、官僚機構を支援するよう科学的帰結をコントロールすることを好む。

期待されていることと、行われていること

適応の必要性 (UN 判定基準)	Million Dollars (US$) - UN	適応の必要性 (WB 判定基準)	Million Dollars (US$) - WB	実際の投資
農林業	14.000	国内投資	4.000 – 8.000	
水資源	11.000	国際投資	2.000 – 3.000	
健康	5.000	公的開発支援	3.000 – 30.000	
沿岸	11.000			
インフラ	8.000 – 11.000			
計 (UN)	30.000 – 43.000	計 (WB)	9.000 – 31.000	13.000

CDM: コロンビア、チンチナにおけるProcuencaプロジェクト



Procuencaに関する詳細情報

2001年に設立

第一の実行段階は２００７年に終了

２００７年時点のプロジェクト面積： 15.000H (様々な小規模プロジェクトを含む)

融資機関：

- コロンビア政府(IDBとの対外債務による)– 森林インセンティブ認証
- 国際CDM (提案されたが認証されていない)と ボランティア市場」

二酸化炭素固定量（トン）**：**

- ２００７年まで – 162.000
- ２０１２年推定量 – 1.853.000
- ２０年後の推定量 – 4.425.027

Native forest

CDMの結果としての森林減少

Procuenca の法的な契約No. 031-2004
2004年3月15日
"土地の広さ: 17 ヘクタール
プロジェクト用地: 17ヘクタール
生命豊かな場所：低地熱帯雨林
地形学: 渓谷
在来樹種 :manzanillo、 yarumo、laurel drago、 encenillo、 sacaojo
在来生物種 :mirlas、 barranquillo、 cuzumbo、t órtola
土地利用：天然林5%、農業用地 5%、伐採跡地90%...),
植林のための樹種を選定中..."

使用可能な土地の合計
CDMに使用された土地の合計

ムーブメントのを起こすための連携

- 影響住民の運動
- いまクライメート・ジャスティスを!
- エネルギー主権ムーブメント
- 戦略的アライアンス:
  先住民族と民族コミュニティ、地域コミュニティ、農民、労働組合、学生運動、ラ・ビア・カンペシーナ (LVC)

行動計画

- 10月12日：「パチャママ」を守る世界デー
- 10月～12月：地球タイムカプセル (犠牲者の声をコペンハーゲンへ)
- 12月：影響住民裁判 （コペンハーゲン）
- 12月12日:「いまクライメート・ジャスティスを!」に基づき行動する世界デー（コペンハーゲン）

クライメート・ジャスティスとエネルギー主権のための10の要求

1)気候変動の構造的 要因に立ち向かおう。
環境資本主義を糾弾しよう。
2) 石油や採炭などの消費をやめよう。
3) 迅速な排出削減を! (2020年迄に少なくとも 40%)
4) 北から南への排出移転をやめよう。
5) 公共かつ 専売特許のない 持続可能技術
6) バイオ燃料は気候変動に対する解決策にはならない。
7) REED は気候変動対策の代替案にはならない。
8) 南への エコロジカル負債を認識し返済すること。
9) 南の対外債務を解消し回避せよ。
10) 先住民族や地域住民の持続可能な知恵と慣行を認識し推進しよう。

ありがとうございました!

clima@censat.org